

国際フラットパネルディスプレイ展において、ADY2007を受賞

● 国際フラットパネルディスプレイ展概要

国際フラットパネルディスプレイ展は、リードエグジビションジャパン殿主催にて、2007年4月11日から13日まで、東京ビックサイトで開催された国際展示会で、今回で3回目の開催になります。この展示会では、液晶を始めとして、PDP、有機ELのようなフラットパネルディスプレイと、これらの材料などの展示、技術紹介、セミナーが行われました。

同時開催のファインテックジャパンと合わせた入場者数は約5万6千人になります。

当社はこの展示会に第1回目から参加しており、今回は「動くカタログ」を展示コンセプトとして、最新の各種製品の実機展示、技術紹介とデモを実施しました。写真1は当社ブースです。

● ADY2007受賞

この国際フラットパネルディスプレイ展では、毎年、ディスプレイモジュールを始めとして、製造、検査装置、材料の4分野でそれぞれ優れた、3ないし4つの製品を選び、ADY2007 (アドバンスド ディスプレイ オブ ザ イヤー) として表彰し、特別展示しています。

今年、当社の医療用TFTモノクロ液晶モジュールシリーズがディスプレイ・モジュール部門で、このADY2007を受賞しました。写真2は、受賞式の模様です。写真3は、当社展示ブースでの受賞製品の展示風景です。受賞理由は、高分解能、高輝度のモノクロTFT液晶モジュールを用いることにより、医療のIT化に多大な貢献をしたということです。

受賞製品は、1) NL204153AM21-07A、および2) NL160120AM27-13Aという、いずれも21.3型の高輝度、高解像度のモノクロ液晶モジュールです。

1)の製品の解像度は、QXGA (2048×1536) の3百万画素で、2)はUXGA (1600×1200) の2百万画素です。いずれも医療現場で必要とされる輝度 (約400~500cd/m²) を長期に安定して保持できるように、高輝度バックライトと、当社独自のSA-SFT技術による高透過率液晶パネルを組み合わせた製品です。

このSA-SFT技術は、水平、垂直の両方向とも約170度の広視野角を実現しています。また、これらの製品はモノクロディスプレイでありながら、カラーディスプレイと同じように1画素を3個のサブピクセルで構成しているため、サブピクセルモジュレーション (3サブピクセルを独立に階調制御すること) により、766階調の多階調表現を実現して、微妙な階調も再現できる性能を持っています。

このような性能は、医療分野のIT化と相まって、世界各

国の医療機器メーカーに好評をいただき、医療用モノクロ液晶モジュール分野において、約30%を超える高いシェアを有しています (2005年実績)。

以上のように、国際的にも大規模なフラットパネル関係の展示会において、当社製品がADY2007を受賞したことは、NEC液晶テクノロジーの高い技術力を認めていただいたことであり、また、当社が設立当初より産業用液晶分野に注力して、お客様とともに新たな市場の創造に挑戦し、着実に歩んでいることをアピールできたものと考えています。

当社は今後も医療向け高輝度、高精細製品群を開発、製造して医療分野のIT化に貢献する所存です。



写真1 当社展示ブース

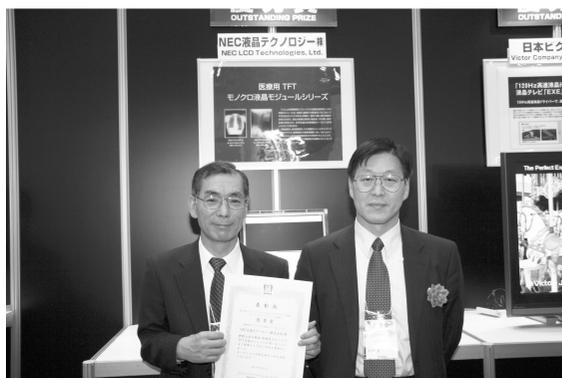


写真2 授賞式 (左: 上野社長、右: 大井取締役)



写真3 当社展示ブース内の受賞製品